

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教師ノート

日付 2016年12月 4日

単元 クリスマス

テーマ エリサベツの証し

タイトル 喜びと祝福の御子、イエス様

テキスト ルカ 1:26-55

参照箇所

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

ルカ 1:46,47

AG 日曜学校教案参照箇所

□導入

今年も12月になり、クリスマスが近づいてきました。皆さんはクリスマスのために、どのような計画を立てていますか？今からいろいろな準備をして、とても楽しいクリスマスにしたいですね。ところで、皆さんはクリスマスの本当の意味を知っていますか？今年には本当のクリスマスの意味を知って、喜びに満ち溢れたクリスマスを迎えましょう。

☞教会暦ではクリスマスの前の四週間を「アドベント(待降節)」と言い、クリスマスを迎えるための心の準備をする期間です。12月のカリキュラムを通して、イエス様を心にお迎えする準備をしていきましょう。

☞アドベントは11月30日に最も近い日曜日から始まり、クリスマスイブまで続きます。

各年の	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
アドベント初日	11月27日	12月3日	12月2日	12月1日	11月29日

□ポイント1 クリスマスはイエス様の誕生をお祝いすることです

ガリラヤのナザレという町に、マリヤという女の方が住んでいました。マリヤには将来結婚する人が決まっていて、お互いに結婚の日を待ち望んでいました(:26,27)。

そんなある日、マリヤのところに天使がやって来ました。天使はマリヤに神様からの特別な言葉を伝えるためにやってきたのです。天使はマリヤの家に入って来て、こう言いました。「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」(:28)

マリヤは突然、天使が家に入って来て、とても不思議なことを言ったので、驚いてしまいました。すると、天使はマリヤに言いました。「こわがることはありません。マリヤ。あなたは神様から恵みを受けたのです。さあ、あなたのお腹には赤ちゃんが宿って、男の子を産みます。その子の名前をイエスとつけなさい。」(:29-31)

このように、マリヤはイエス様のお母さんとして選ばれました。そして、イエス様の誕生をお祝いするのがクリスマスです。

□ポイント2 クリスマスの主役はイエス様です

天使からお告げを受けたマリヤは、親戚のエリサベツに会いに行きました(:39)。エリサベツにはお婆ちゃんになるまで子どもができませんでした。マリヤと同じように天使からのお告げを受けて、神様の奇跡で赤ちゃんを宿しました(:36,37)。マリヤはお腹に宿った赤ちゃんのことをもっとよく知りたくて、エリサベツとお話するために、会いに行ったのです。

マリヤはエリサベツの家に着いて、エリサベツにあいさつしました。「こんにちは。」すると、エリサベツのお腹の赤ちゃんが踊り出し、エリサベツは聖霊に満たされて大声でこう言いました。「あなたは女の人の中でも特別に神様から祝福されています。あなたのお腹の赤ちゃんは、私の主です。」(40-43)

エリサベツは聖霊に満たされて、神様からの言葉を預言しました。そして、エリサベツはマリヤのお腹の赤ちゃんが救い主であることを告げ、マリヤとイエス様を大歓迎しました。クリスマスはエリサベツがしたように、イエス様を主役としてお迎えするものです。

□ポイント3 イエス様は私たちに喜びを与えて下さいます

マリヤはエリサベツの言葉を聞いて、イエス様のお母さんとして選ばれたこと、やがてイエス様が救い主としてお生まれになることを喜びました。そして、マリヤは神様を賛美しました。「わがたましいは主をあがめ、わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。」(46,47)

マリヤもエリサベツも、そしてエリサベツのお腹にいた赤ちゃんも、イエス様がお生まれになることを知って喜びに満たされました。同じように、クリスマスにイエス様を心にお迎えする人は、喜びに満たされます。神様はそのことを願って、クリスマスにイエス様を誕生させて下さったのです。イエス様は、神様からの最高のクリスマスプレゼントです。

例:もしあなたの誕生日会に主役のあなたが招待されなかったらどう思う? 周りの友だちだけで「今日は〇〇君の誕生日だから盛り上がりよう!」って言って、プレゼント交換をしたりケーキを食べて楽しんで、あなたがそこにいなかったらどう思う? ……そうおかしいよねえ。寂しいよねえ。日本でもクリスマスがお祝いされているけれど、そこに主役のイエス様はいないんですね。イエス様はどんな気持ちだろう? 私たちが、クリスマスに主役のイエス様をお迎えする時、イエス様は喜ばれます。そして私たちにもマリヤやエリサベツのような大きな喜びが与えられます。

□結論 クリスマスに主役のイエス様をお迎えしましょう

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

クリスマスはイエス様がお生まれになったことをお祝いする“イエス様のお誕生日会”です。だから、クリスマスの主役はイエス様です。イエス様はクリスマスをお祝いする私たちに喜びを与えて下さいます。感謝してイエス様をお迎えしましょう。

1. イエス様を喜ぼう! ……喜べないことがありますか? イエス様は、喜びを与えるために生まれました。聖霊が喜びを与えてくれます。今、一緒に聖霊に満たされて祈りましょう。
2. 賛美しよう! ……クリスマスの賛美をいくつ知っていますか? 皆が好きなクリスマスの賛美はどれかな? 今年は、新しいクリスマスの賛美も覚えよう。

☞ イエス様を与えて下さる喜びは、私たち人間が普段感じる喜びとは異なるものです。マリヤやエリサベツも聖霊に満たされた結果、天の御国の真理を悟らされて、天上の喜びに満たされました(ルカ 10:21)。クリスマスに生徒たちがイエス様を心にお迎えして、真の喜びに満たされることができるよう祈りましょう。

☞ クリスマスプレゼントをもらう嬉しさを例話として使うと良いでしょう。

教師ノート

日付	2016年12月11日
単元	クリスマス
テーマ	天使の証し
タイトル	罪からの救い主、イエス様
テキスト	マタイ 1:18-25、ローマ 7:18-8:4
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) マタイ 1:21
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

楽しいクリスマスを迎えるには、主役のイエス様についてよく知っていることが必要です。イエス様とは、どのようなお方でしょうか？イエス様はなぜお生まれになったのでしょうか？そして、イエス様をどのようにお祝いしたら良いでしょうか？

☞今回は、三つのポイントに分けて「救い」について学びます。1. イエス様は救い主、2. 人間には罪からの救いが必要、3. イエス様は人間を罪から救うことができる。

□ポイント1 イエス様は私たちの救い主です

マリヤはヨセフと結婚する約束をしていました。しかし、二人と一緒に生活を始める前に、マリヤのお腹に赤ちゃんが宿りました。マリヤは聖霊によって赤ちゃんが宿ったことがわかっていましたが、ヨセフはわからなかったため、とても悩みました。ヨセフはマリヤが間違いをしたと思って、他人に知られる前に別れようと決めました(マタイ1:18,19)。

ヨセフがそのことを考えている間に、ヨセフの夢の中に天使が現れました。天使はヨセフにも神様からの特別な言葉を伝えるために、夢の中に現れたのです。天使はこう言いました。「ヨセフ。恐れなくてマリヤと結婚しなさい。マリヤの赤ちゃんは他の男の人ではなく、聖霊によって宿ったのです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」(マタイ1:20,21)

天使はヨセフに、マリヤの赤ちゃんが救い主であることを知らせました。「イエス」という名前は、「主は救いである」という意味です。そして、イエス様は私たち人間を「罪から救ってくださる方」と言いました。

☞ヨセフは、婚約中の処女が他の男と性交渉した場合、二人とも石打ちにより死刑に処されるという律法の規定(申 22:23,24)を知っていて、マリヤの命を救うために内密に去らせようとしたと考えられます。

☞「イエス」とは、ヘブル語の「ヨシュア」のギリシア語名であり、「ヤハウエ(主)は救いである」を意味します。「イエス」は、バビロン捕囚後のユダヤ人のうちによく使われていた名前です(出典:『旧約新約聖書大事典』より「イエス」、教文館、1989年)。

□ポイント2 私たちは“罪”を解決することができません

天使はイエス様のことを「罪から救ってくださる方」と言いましたが、“罪”とはいったい何でしょうか？

私たちは約束を守ることは良いこと、約束を破ることは悪いことだとわかっています。友達と遊びに行く約束をすれば、約束通りにするのが良いとわかっています。だけど、約束の時間に遅れて行ったり、約束を忘れて遊びに行かなかったりする場合があります。それは約束を破ることで、悪いことです。

私たちは良いことをしたいと思いますが、かえって悪いことをしてしまうことがあります。それは、私たちが“罪”に縛られているからです(ローマ 7:21-23)。私たちは罪のために、思った通りに良いことをすることができないのです(ローマ 7:18-20)。私たちは自分の力では罪から自由になることができません。私たちに“罪から救う”救い主が必要です(ローマ 7:24)

例話：江戸時代に本居宣長という学者さんがいました。本居さんはとっても真面目な人で、自分が悪いことをしてしまったと思ったら、床に釘を打ちつけました。嘘をついてしまったり、優しく出来なかったり、困っている人を助けることが出来なかったり、誰かの悪口を言った時、正直に釘を打ちつけました。そして良いことをしたと思ったら、その釘を抜いていきました。本居さんは、一生懸命に良いことをして釘を一本一本抜いていき、ある時、全部の釘を抜くことが出来ました！しかし全部の釘を抜くことが出来ても、たくさんの釘の跡がしっかりと床に残っているのを見つけました。どんなに良いことをしても、自分がしてきた悪いことを帳消しにすることが出来ないということが分かったのです。

□ポイント3 イエス様は私たちが罪から救うことができます

神様は私たち人間が罪に縛られていて、救い主が必要であることを知っておられます。そのため、神様は私たちが救うためにイエス様を遣わしてくださいました。イエス様は私たちのうちから罪を取り除いてくださいます(ローマ 8:3)。

また、イエス様は私たちが罪の力から自由にしてくださって、悪いことをしなくて済むようにしてくださいます(ローマ 8:2)。

それだけでなく、私たちはイエス様の力で良いことをすることができるようになります。それは、イエス様のうちにある聖霊の力が私たちにも与えられるからです(ローマ 8:4)。

□結論 イエス様を信じて、罪から救っていただきましょう

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

私たちは「良い子になりたい」と思っても、なかなか思ったとおりに良い子になることができません。それは、私たちは罪に縛られているからなのです。私たちは自分の力では罪から自由になることはできませんが、イエス様は私たちが罪から自由にすることができます。イエス様は私たちが罪から救う“救い主”であるからです。私たちも救い主イエス様を信じて、罪から救っていただきましょう。

1. 誰にも言えなくて悩んでいることがありますか？
2. 恐れていることはありませんか？（「死ぬこと」は怖くない？）
3. みんなの心の中に罪はありませんか？（盗み？カリパク？ウソ？意地悪？無視？友だちが困っているのに何もしない？お父さんやお母さんに隠していること？・・・）

* イエス様は、罰を与えるために、叱るために生まれたのではなく、悩み、恐れ、罪から救うために生まれました。イエス様に正直に告白して、「助けて下さい。赦して下さい。ゴメンナサイ。救って下さい」と一緒に祈りましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2016年12月18日
単元	クリスマス
テーマ	羊飼いの証し
タイトル	すべての人を照らす光、イエス様
テキスト	ルカ 2:1-20
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ 1:9
AG 日曜学校教案参照箇所	幼1「神様からの贈り物」、下2「最初のクリスマス」、上1「イエス様の誕生」、上2「イエス様の誕生」
□導入	<p>イエス様が生まれたのは、きれいな部屋ではなく、牛やロバのいる汚い家畜小屋でした。そして、イエス様が生まれたその日に喜んでお祝いした人は、ほとんどいませんでした。だけど、その日にイエス様に出会うことのできた人たちがいたのです。それは一体、誰でしょう？</p>
□ポイント1 羊飼いたちは町外れで羊を飼っていました	<p>イエス様はユダヤのベツレヘムという町で生まれました(:6,7)。イエス様が生まれた夜、ベツレヘムの町には多くの旅人が宿屋に泊まっていました。それは、全世界で住民登録が行われていて、それぞれの先祖の町に戻って登録する必要があったからです。町中が多くの人で賑わっていました(:1-3)。</p> <p>ところが同じ日の夜、多くの人で賑わっていた町から遠く離れて、寂しく過ごしている人たちがいました。それは羊飼いです。羊飼いたちは、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていました(:8)。いつも羊飼いは町外れに住んでいて、町の人々とあまり会うことのない仕事でした。町の人々が集まっているいろいろな話をしている、羊飼いはいつも町外れで羊を飼っていたので、新しい話を聞くことはあまりありませんでした。</p> <p>問い:羊飼いたちは、どんな気持ちで羊の番をしていたと思いますか？</p> <p>☞ 古代社会ではいわゆる「中産階級」は存在せず、ほとんどの人々は社会の下層に属していました。その中でも、特に羊飼いは軽蔑され、差別されていた人々の間でも不名誉を着せられることがありました(出典:山口雅弘「イエス誕生の夜明け」日本キリスト教団出版局、176-191 頁より)。</p>
□ポイント2 羊飼いたちは救い主の誕生を知りました	<p>そんな羊飼いたちのところに大ニュースを知らせにきた人がいました。それは、何と神様から遣わされた天使でした。天使が羊飼いたちのいた野原にやってきて、辺り一面が光に包まれました。その様子を見た羊飼いたちはとても怖くなりました(:9)。</p> <p>天使は羊飼いたちに言いました。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうベツレヘムで、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(:10,11)</p> <p>救い主イエス様が生まれた夜、ベツレヘムの町には多くの人々がいました。しかし、神様が最初にイエス様の誕生を知らせようとして選ばれたのは町の中にいた人ではなく、町外れに住んでいたこの羊飼いで</p>

たちだったのです。

問い: どうして神様は、イエス様の誕生を羊飼いたちに知らせたと思いますか？

□ポイント3 羊飼いたちは救い主に会いました

天使は羊飼いたちにイエス様の誕生を知らせた後、天に帰って行きました。それから羊飼いたちはお互いに言いました。「さあ、ベツレヘムに行って、神様が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」そして、羊飼いたちは救い主に会うため、町に急いで行きました(:15)。

羊飼いたちは町にたどり着いて、とうとう救い主イエス様を探し当てました。イエス様はお父さんのヨセフとお母さんのマリヤと一緒にいて、飼葉おけですやすやと寝っていました(:16)。

羊飼いたちは天使がイエス様の誕生を知らせてくれたこと、そしてイエス様が救い主であると言われたことを周りにいた町の人々に知らせました(:17)。町の人々は、目の前でかわいらしく寝ている赤ちゃんが救い主であるを知って、とてもびっくりしました(:18)。聖書の中で約束されていた救い主が、まさか目の前におられるとは夢にも思っていなかったからです。

羊飼いたちは天使が言ったことが本当であったこと、そして救い主にお会いすることができたことを喜んで、神様を賛美しながら帰って行きました(:20)。

☞ 教父ユスティノスは、イエス様がお生まれになった家畜小屋とは家畜避難用の洞窟であったと伝えています。また当時一般には、飼葉おけは石で作られていました(出典:『実用聖書注解』いのちのことば社、1099 頁より)。

□結論 羊飼いたちは救いの喜びに満たされました

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は“すべての人を照らす光”です。イエス様はすべての人が救いの喜びに満たされるために、今も一人ひとりを招いておられるのです。イエス様が知らない人は誰もいません。もちろん、イエス様はあなたのことも知っておられます。あなたもイエス様を信じて、救いの喜びを受け取りませんか。

救い主に会った喜びがありますか？・・・1. 羊飼いのように救い主の誕生を知らせましょう。今年の教会のクリスマスに家族や友達を誘ってみませんか？2. 神様を賛美しましょう。以前の学課で新しい賛美を覚えようとお勧めしました。どの賛美が好きですか？

☞ 羊飼いたちが救い主に会うことができたということは、「やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。」(イザヤ 9:2)という預言の成就です。イエス様はすべての人々を漏れなく探し求められ、救いへ招いておられます。その救いへ「あなたも」招かれていると勧め励ましましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2016年12月25日
単元	クリスマス
テーマ	シメオンとアンナの証し
タイトル	全世界の救い主、イエス様
テキスト	ルカ 2:21-38
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ 49:6

AG 日曜学校教案参照箇所

□導入

最初のクリスマスの日にイエス様に出会った人は、あまり多くありませんでした。だけど実は、救い主イエス様がお生まれになることは、はるか昔から神様のみことば(聖書)によって約束されていたのです。それは、全世界にいるすべての人々が救い主イエス様を信じて、救われるためだったのです。

□ポイント1 ヨセフとマリヤはイエス様をつれて神殿に行きました

イエス様が生まれて八日目になりました。ヨセフとマリヤは聖書にしるされている赤ちゃんのきよめの儀式を行い、名前を“イエス”とつけました。イエスという名前は生まれる前に、ヨセフにもマリヤにも同じく天使がつけるようにと言われていた名前でした(:21)。

ヨセフとマリヤは、聖書の教えを守る、信仰深い夫婦でした。彼らは聖書の定めに従って、イエス様をつれてエルサレムにある神殿に行きました(:22)。

例:教会ではね、この時のヨセフとマリヤがイエス様を神殿に連れていったように、お父さんとお母さんが赤ちゃんを教会に連れてきて、「献児式」っていうのをするんだよ。教会の牧師やみんなに祝福を祈ってもらいます。例えば、〇〇ちゃんも赤ちゃんの時に献児式を教会でしました。

☞ 出産後の母親のきよめの儀式についてはレビ12章、長男の聖別の儀式については出13:2,12-16、民18:15-16を参照。

□ポイント2 シメオンは神殿でイエス様に出会いました

エルサレムには多くの信仰深い人たちがいました。その中にシメオンという人がいました。シメオンはいつも神殿で神様を礼拝して、イスラエルの人々が救われることを祈り求めていました。シメオンには聖霊がとどまっていた(:25)。またシメオンは、救い主を見るまで死なないと聖霊のお告げを受けていました(:26)。

イエス様がヨセフとマリヤに連れられて神殿にやって来た日にも、シメオンは聖霊に導かれて神殿に行きました。そして、シメオンは赤ちゃんのイエス様を見つけて、この方が救い主であるということがわかりました(:27)。

シメオンは、赤ちゃんのイエス様を腕に抱いて、神様をほめたたえて言いました。「主よ。今こそあなたは、あなたのしもべを、みことばどおり、安らかに去らせてくださいます。私の目があなたの御救いを見た

からです。御救いはあなたが万民の前に備えられたもので、異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です。』(28-32)このようにして、シメオンはイエス様が“全世界の救い主”であると預言しました。

問い:シメオンは、どうしてイエス様が救い主だって分かったのでしょうか？また救い主を腕に抱いた時のシメオンの気持ちはどんな気持ちだったと思いますか？

☞シメオンの預言の内容は、今週の暗唱聖句「イザヤ49:6」において預言されています。

□ポイント3 アンナはイエス様が救い主であると語りました

エルサレムに住んでいた信仰深い人の中に、アンナという人もいました。アンナは年をとった女の預言者で、いつも神殿で神様を礼拝していました(36,37)。

イエス様が神殿に来られた時に、アンナも神殿にいて、イエス様に出会いました。そして、とても喜んで神様を賛美して、神様を礼拝するためにエルサレムにやってくる多くの人々にイエス様が救い主としてお生まれになったことを語りました(38)。

参考:「シメオン」には、「聞く」という意味があります。(「シモン・ペテロ」の「シモン」のヘブル語式読み方が「シメオン」です)「アンナ」は、「恵み」という意味があります。

□結論 イエス様が約束された救い主です

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

シメオンとアンナは、聖書の中で約束された神様の救いを待ち望んで、とうとう救い主のイエス様に会うことができました。そして、イエス様のことを多くの人々に伝えました。そのようにして今日に至り、日本に住んでいる私たちにもイエス様の救いが宣べ伝えられたのです。イエス様は全世界の人々の救い主です。私たちもイエス様の救いを伝えていきましょう。

1. イエス様に出会ったことを感謝しよう！・・・今年1年間もいろいろあったでしょう。(アンナも84歳までいろいろあったでしょう)でも、今、こうやって1年の最後の礼拝に来て、イエス様を信じていることを感謝しよう。
2. 来年こそ友達に「イエス様は救い主だよ」って宣べ伝えましょう。